

平成28年10月 斐伊川水系水質情報

平成28年10月(宍道湖:11日・中海:13日採水)								単位:mg/l(Chl-a:μg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.2	△	平年並み	4.4	△	平年並み	12.1	★	非常に高い
全窒素	上層	0.46	△	平年並み	0.50	△	平年並み	1.35	☆	かなり高い
全リン	上層	0.053	△	平年並み	0.044	△	平年並み	0.211	★	非常に高い
Chl-a	上層	35	△	平年並み	13	△	平年並み	200	★	非常に高い
塩化物イオン	上層	1,400	△	平年並み	5,600	○	やや低い	6,220	△	平年並み
	下層	1,670	△	平年並み	16,600	△	平年並み	6,660	○	やや低い
溶存酸素	上層	9.6			9.2			16.0		
	下層	8.9			3.4			14.4		

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.7	横ばい	4.0	横ばい	5.5	上昇
全窒素	上層	0.57	やや下降	0.51	横ばい	0.49	上昇
全リン	上層	0.070	横ばい	0.046	横ばい	0.052	上昇

宍道湖の透明度は1.2mから1.4mにやや上昇。中海の透明度は1.6mから1.9mへやや上昇。米子湾の透明度は1.7mから0.7mと下降し、やや低い状態となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍…… ★ <非常に高い>

平均値+標準偏差値の2倍…… ☆ <かなり高い>

平均値+標準偏差値 …… × <やや高い>

平均値-標準偏差値 …… △ <平年並み>

ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。

平均値-標準偏差値の2倍…… ○ <良好>

ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

<やや低い>(塩化物イオン)

平均値-標準偏差値の3倍…… ◎ <かなり良好>

<かなり低い>(塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ99.7%